

第6回

北里柴三郎

近代日本医学の父・感染症対策の先駆者



講師は、前回に引き続き、歴史研究家の大貫先生です。

新千円札に採用される北里柴三郎について学びました。

日本の近代医学の父と呼ばれ、国内外での伝染病予防と治療に大きく貢献したことは、よく知られているところですが、その人物像については、初めて知る内容がたくさんありました。医学生頃のバンカラなエピソードや、母校東京大学との対立、大食漢であったことなど、その逸話に学級生は驚いたり、笑ったり。今回新札の顔となる3人の学習をし、慣例にとらわれず、目標を定めて行動する強い意志を生涯持ち続けた、という共通点を見つけることができました。



個別に質問！



学習をグループで振り返ります



グループの話題はさまざま



学習をふりかえり
みんなで共有します



学級性の様々な意見を
聞くことができました